

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第 44 週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 677 人（定点あたり 21.2）で、前週比 113%と増加した。

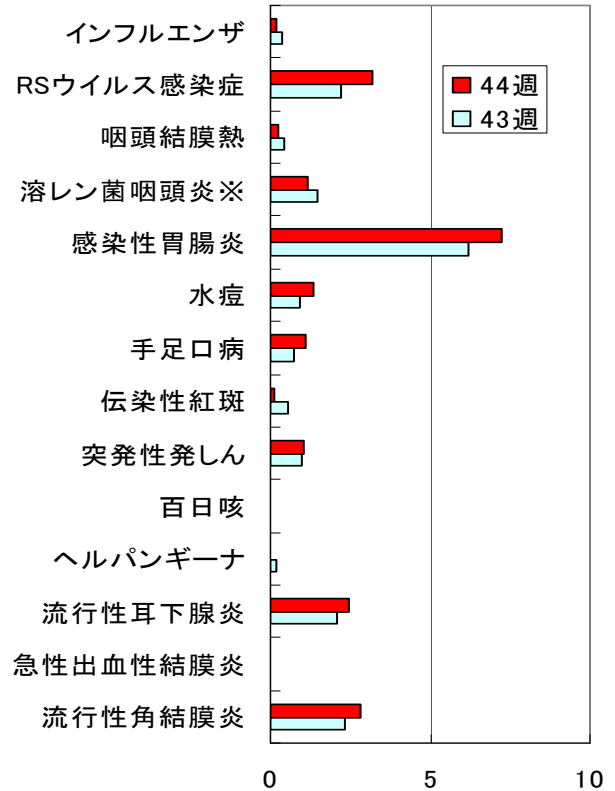
前週に比べ多かった主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 114 人（3.2）で前週比 143%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.4）と比較すると約 2.2 倍である。日向（10.0）、延岡（7.3）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳以下で全体の約8割を占めた。全て7歳以下の報告であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 89 人（2.5）で前週比 119%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.2）と比較すると約 2.1 倍である。日南（8.0）、延岡（7.8）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では2歳から6歳で全体の約8割を占めた。

マイコプラズマ肺炎 1 例が延岡保健所から報告された。11 歳の男児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae*。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
流行性耳下腺炎	6	2.5	日南(8.0)、延岡(7.8)	2歳~6歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 1 例が小林保健所から報告された。70 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。2 歳の女児で腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性尿毒症症候群 (HUS) がみられた。原因菌の血清型は 0157 (VT2 産生)。
- 4 類感染症 : つつが虫病 1 例が都城保健所から報告された。70 歳代の男性で発熱、肺炎がみられた。

- 5 類感染症： ○アメーバ赤痢 1 例が都城保健所から報告された。40 歳代の男性で腸管アメーバ症。10 年前にアメリカ合衆国へ渡航歴あり（滞在期間不明）。
- ウイルス性肝炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。10 歳代の男性で B 型。全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸がみられた。

病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ インフルエンザ検出速報（平成 22 年 11 月 1 日～11 月 7 日までに検体採取分）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
インフルエンザ AH3 型	4	女	11.2	インフルエンザ、39.2℃、咳、頭痛、咽頭痛	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	1	女	11.2	インフルエンザ、40℃、全身倦怠感	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	82	女	11.4	インフルエンザ、39℃、咳、鼻水、全身倦怠感	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	25	女	11.4	インフルエンザ、38.6℃、咳、頭痛、関節痛	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	2	女	11.1	インフルエンザ、38℃、咳、鼻水、下痢	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	39	女	11.1	インフルエンザ、39.7℃、咳、鼻水、嘔吐	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	3	女	11.6	インフルエンザ、40.3℃、咳、鼻水、嘔気、眼脂	鼻ぬ*	11.8
インフルエンザ AH3 型	6	男	11.2	インフルエンザ、39.8℃、頭痛	咽ぬ*	11.8

鼻ぬ*：鼻腔ぬぐい 咽ぬ*：咽頭ぬぐい液

○宮崎市、日向、延岡、高鍋保健所管内でインフルエンザ A 型の報告があった。宮崎市の 1 例、日向の 5 例、延岡の 1 例、高鍋の 2 例について遺伝子検査を実施した結果、高鍋の 1 例以外からインフルエンザ AH3 (A 香港型) が検出された。

□ ウイルス（平成 22 年 10 月 27 日～11 月 8 日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
エンテロウイルス 71 型	8	女	6.16	手足口病、発疹	咽ぬ*	11.1
エンテロウイルス 71 型	1	女	9.1	手足口病、無菌性髄膜炎、39.9℃、水疱	便	10.28
コクサッキーウイルス A2 型	4	女	9.6	ヘルパンギーナ、39.4℃、咽頭炎、四肢痛	咽ぬ*	11.1
アデノウイルス 3 型	3	男	9.6	流行性結膜炎、39℃、腹痛	眼脂	11.8
エンテロウイルス 71 型	2	男	9.8	手足口病、口内炎、発疹	咽ぬ*	11.1
エンテロウイルス 71 型	1	男	9.8	手足口病、発疹	咽ぬ*	11.1
エンテロウイルス 71 型	1	女	9.13	ウイルス性発疹	咽ぬ*	10.28
エンテロウイルス 71 型	2	男	9.15	手足口病、発疹（丘疹）	咽ぬ*	10.28
コクサッキーウイルス B2 型	26	女	9.22	無菌性髄膜炎、38.4℃	咽ぬ*	11.8

咽ぬ*：咽頭ぬぐい液

○手足口病、発疹症の乳幼児からエンテロウイルス71型が検出された。今年、手足口病からは全国的にもエンテロウイルス71型が最も多く分離・検出されている。

○ヘルパンギーナの幼児からコクサッキーウイルスA2型が検出された。本県では7年ぶりの検出であった。全国では、コクサッキーウイルスA4型に次いでコクサッキーウイルスA2型が多く検出されている。

○無菌性髄膜炎の患者からコクサッキーウイルスB2型が検出された。

○流行性結膜炎の幼児からアデノウイルス3型が検出された。

- 細菌（平成22年10月27日～11月8日までに分離同定）
報告なし。

■ 全国第43週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は10.8で、前週比107%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は728人(0.15)で、前週比125%と増加した。例年同時期の約1割である。北海道(1.1)、沖縄県(1.0)、岐阜県(0.49)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の34%、6-9歳が27%、10-14歳が11%、15-19歳が3%、20-50歳が22%、60歳以上が3%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は1,275人(0.42)で、前週比124%と増加した。例年同時期の約1.6倍である。宮崎県(2.2)、福岡県(1.6)、新潟県(1.3)からの報告が多く、年齢別では2歳以下で全体の約9割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1 類感染症 : 報告なし。

2 類感染症 : 結核 326 例

3 類感染症 : 細菌性赤痢 8 例、腸管出血性大腸菌感染症 38 例、腸チフス 1 例

4 類感染症 : A型肝炎 3 例、つつが虫病 7 例、デング熱 5 例、日本紅斑熱 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 8 例、レプトスピラ症 1 例

5 類感染症 : アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、後天性免疫不全症候群 15 例、ジアルジア症 2 例、梅毒 9 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 例、風疹 1 例、麻しん 3 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第44週(11月01日～11月07日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	21	11	1	1	1			2		6	
	定点あたり	0.36	0.19	0.06	0.10	0.14	0.00	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	80	114	15	13	29	1		12		40	4
	定点あたり	2.22	3.17	1.50	2.17	7.25	0.33	0.00	3.00	0.00	10.00	4.00
咽頭結膜熱	報告数	15	8		3	1	2	1	1			
	定点あたり	0.42	0.22	0.00	0.50	0.25	0.67	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	52	43	6	9	3	8		10	1	5	1
	定点あたり	1.44	1.19	0.60	1.50	0.75	2.67	0.00	2.50	1.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	223	260	34	53	24	26	30	35	3	39	16
	定点あたり	6.19	7.22	3.40	8.83	6.00	8.67	10.00	8.75	3.00	9.75	16.00
水痘	報告数	33	49	15	13	11	2	1	3		4	
	定点あたり	0.92	1.36	1.50	2.17	2.75	0.67	0.33	0.75	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	26	40	7	10	7	2		7		6	1
	定点あたり	0.72	1.11	0.70	1.67	1.75	0.67	0.00	1.75	0.00	1.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	19	5	1	2			2				
	定点あたり	0.53	0.14	0.10	0.33	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	38	16	1	6	4	5	4		2	
	定点あたり	0.97	1.06	1.60	0.17	1.50	1.33	1.67	1.00	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	2	2								
	定点あたり	0.19	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	75	89	12	5	31	24	1	1	1	9	5
	定点あたり	2.08	2.47	1.20	0.83	7.75	8.00	0.33	0.25	1.00	2.25	5.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	17	16	1							
	定点あたり	2.33	2.83	5.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第44週)

2類感染症	結核	180例(1)				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	50例(1)		
	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	2例
4類感染症	デング熱	1例	日本紅斑熱	5例	マラリア	2例
	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例(1)	ウイルス性肝炎	8例(1)	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	5例
	破傷風	5例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲